

2016年7月18日

在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2016年26号)

リオ市内で空港を利用する際の注意事項

リオ市内の空港では、オリンピックが近づいてきたことで、セキュリティ・チェックが強化されています。今回の検査強化の影響により、18日(月)、サントス・ドゥモン空港の検査場では長い行列ができています。

また、先週から、ガレオン国際空港において税関職員によるストライキが実施されており、各空港内で思わぬ時間が割かれることが予想されます。

今後、当地への航空機による御到着、御出発を予定される方は、時間に余裕を持った計画を立てるようにしてください。

1 セキュリティ・チェックの厳正化

オリンピック開会式が近づいてきたこと、さらには、昨今のテロ情勢を受けて、リオ市内ガレオン国際空港、サントス・ドゥモン空港内のセキュリティ・チェックがより厳しく実施されています。

特にサントス・ドゥモン空港では、18日(月)朝から、規制エリア内に入るための保安検査(手荷物検査、身体検査等)が厳しく行われており、特に午前6時から午前7時までの間、搭乗のために検査を受ける人々で長い行列ができました。

ブラジリア、サンパウロ等ブラジル国内のオリンピックに関連する都市でも同様に検査が強化されており、航空会社では、搭乗の1時間半前にはチェックイン手続きを完了するよう勧めています。

2 税関職員のストライキ

7月14日(木)、ガレオン国際空港において、税関職員(検査官)による賃上げを求めるストライキが行われました。同空港内では、職員が午前10時から12時までの2時間、ゆっくりとした作業が行われ、検査場各所で長い行列ができました。

今後も、毎週火曜日、木曜日の同時間帯にストライキは継続される予定で、特に到着時には、空港内で、長時間待つ必要がある場合が予想されます。